

スミリン通信

第7号:平成21年7月

プロの農家さんを中心に育苗用培養土として長年利用されている“土太郎”を初めとした弊社培養土は、一般の家庭園芸でも人気で、野菜の栽培用培地としても最適です。今回は夏野菜作りにちょっと遅いですが、家庭菜園として楽しんで頂くための情報満載でお届けします！



スミリン農産工業株式会社

愛知県海部郡飛島村木場 2-59

Tel 0567(55)2320

Fax 0567(55)2088

<http://www.sumirin-nousan.co.jp/>

弊社培土でフーデニング！

最近、巷では“フーデニング”が静かなブーム。ご家庭で野菜を見て、育て、食べて楽しめるガーデニングとして野菜苗の売行きが良いようです。特に小さいお子さんがいるご家庭では、食に対する興味がわき、食育の一環にもなります。

【フーデニングとは】

食“フード”と園芸“ガーデニング”を組み合わせた造語。育てて、見て、食べて楽しむ新しい園芸スタイル。

安心培養土で健康野菜

野菜を育てるためにまず大切なのは“良質な土”。でもどんな土を使えば良いかわからない方は是非、弊社培養土をお勧めします。プロ農家の視点で厳しい品質基準をクリアしているので安心して健康野菜が作れます！

肥料問屋が菜園ビジネス

三重県にある某販売店では、周辺の一般消費者を対象に、弊社で開発した栽培専用培土と同店オリジナル肥料を使った野菜の鉢栽培を指導。トマトやピーマン、ナス等、夏の人気野菜が失敗することなく鉢栽培で鈴成りになることから口伝で人気となり、今や多数の顧客を抱えるビッグビジネスに！



鉢栽培でもパプリカが鈴なり！



お店の屋上はまさに空中菜園！

「スミリンの培養土は通気性が良く、保肥力があるので鉢栽培には最適。」とのこと。

野菜のプロの先生も絶賛！

長年、弊社の商品を使い続けているのは千葉大学環境健康センターの北条先生。先生は長年野菜の栽培技術の研究に携わる野菜栽培技術の第一人者。今は同センターで、農家の後継者を育てるため野菜の技術指導をされています。最近、家庭菜園向けの本を出版。106種類の人気野菜の栽培が写真付きでわかりやすく説明されているので初めての方にもお勧めです。使用されている培養土、堆肥はすべて弊社商品です。是非書店でお買い求めください！



最近、ピートモス等を主体にした軽い培養土が人気ですが、ガッチリした良質なポット苗を作るには、“緩衝力のある土”を原料にした培養土が最適。(千葉大学 北条先生)